

2026年2月10日

商 工 中 金
一般財団法人商工総合研究所

2025年度受賞作品決定

一般財団法人商工総合研究所は、「中小企業研究奨励賞」、「中小企業研究奨励賞50回特別記念企画『中小企業の発展を通じた日本経済の成長への提言』」、「中小企業懸賞論文」および「中小企業活性化懸賞レポート」の、2025年度の各受賞作品を次のとおり決定しました。

1. 中小企業研究奨励賞

- ・中小企業研究奨励賞は、中小企業に関する優れた図書または定期刊行物に発表された論文を表彰するもので、1976年から実施しており今回が50回目となります。
- ・2025年度は、2024年8月1日から2025年7月31日までに刊行された図書または論文を対象とし、57点の応募がありました。

【経済部門】

○本賞

『中小企業の経営行動 景況関連調査が映す実態』

編 者 日本政策金融公庫総合研究所

出版社 株式会社勁草書房

□準賞

『フランスの中小企業政策 小規模企業・中堅企業・クラスター』

著 者 山口 隆之氏 (関西学院大学 商学部 教授)

出版社 関西学院大学出版会



【経営部門】

○本賞

『ベンチャー企業のピボット分析 一事業転換の戦略的意思決定プロセス』

著 者 森口 文博氏 (京都産業大学 経営学部 助教)

出版社 株式会社中央経済社

□準賞

『会計による事業承継支援 中小企業経営の「見える化」と「磨き上げ」』

編著者 成川 正晃氏

大槻 晴海氏 (明治大学 経営学部 専任教授)

中島 洋行氏 (明星大学 経営学部 教授)

著 者 木下 貴博氏 (松本大学松商短期大学部 教授)

加藤 恵一郎氏 (公認会計士・税理士)

古川 忠彦氏 (アルパーコンサルティング株式会社 代表取締役)

増山 英和氏 (税理士)

久田 英詞氏 (公認会計士・税理士)

山浦 佑太氏 (税理士)

宮地 晃輔氏 (長崎県立大学 経営学部 教授)

出版社 株式会社中央経済社



2. 中小企業研究奨励賞 50 回特別記念企画「中小企業の発展を通じた日本経済の成長への提言」

- ・中小企業研究奨励賞が今年度 50 回目を迎えることから、特別企画として今年度募集を行ったものです。
- ・募集テーマは失われた 30 年に象徴される日本経済のこれまでを振り返りつつ、中小企業の発展を通じた日本経済の長期的成長を実現するための「具体的提言」とし、12 編の応募がありました。

○本賞

「地方の優良中小企業が出資する VC ファンドを通じた『真の中小企業エコシステム』の構築」

本幡 克哉氏（日本取引所自主規制法人 常任監事）

3. 中小企業懸賞論文

- ・中小企業懸賞論文は、学生・実務家など幅広い層から中小企業の産業・金融に関する論文を、毎年テーマを定めて募集しています。1987 年から実施しており、今回が 39 回目となります。
- ・2025 年度は、産業部門のテーマ（「中小企業の人材戦略」、「地域活性化と中小企業」）に対して 39 編、金融部門のテーマ（「金融機関による事業承継支援」、「地方創生と地域金融機関の役割」）に対して 21 編の応募があり、合計応募点数は 60 編でした。

【産業部門】

○本賞

「中小企業における海外進出のための高度外国人材の採用・活用

—CAGE フレームワークとホイールモデルによる定性的実証研究からのプロセスモデル構築と提案—

佐藤 心星氏、石山 遼氏、小野寺 萌寧氏、鈴木 琉氣亜氏、吉田 凌生氏

以上 5 名（岩手県立大学 総合政策学部 3 年）

□準賞

「それって AI の感想ですよ？

—生成 AI の過剰使用による中間管理職への生産性低減効果—

武内 佑介氏、大塚 悠雅氏、川平 唯斗氏、後藤 由樹氏、山田 陸斗氏

以上 5 名（慶應義塾大学 商学部 3 年、法政大学 社会学部 3 年）

□準賞

「若者、ばか者、よそ者を触媒とした中小企業と地域社会の活性化プロセス

—ヒアリング調査とマルチ・エージェント・シミュレーションによる統合的分析—

山本 丈司氏、小林 才氏、中津川 凜也氏、犬伏 俊輔氏、栗島 輝壮氏、
郡山 花凜氏

以上 6 名（慶應義塾大学 商学部 3 年）

□準賞

「中小企業の人材定着戦略を探って

—SL×TFL 統合モデルを用いた離職防止の可能性—

石割 勇吹氏、岸本 爽汰氏

以上 2 名（龍谷大学 経営学部 3 年）

【金融部門】

○本賞

「従業員承継による新規市場の開拓

—新たな金融スキーム『J-CFI』構想—

伊東 真里菜氏、今野 圭氏、水嶋 空氏、小島 勇晴氏、西澤 祐輝氏、廣澤 盾氏

以上 6 名（中央大学 経済学部 3 年）

□準賞

「協同組織金融機関による事業承継 M&A 支援

—相互扶助・非営利性を活かした支援形態—

赤塚 大悟氏、高市 創太氏、碓田 りな氏、関本 健人氏

以上 4 名（慶應義塾大学 経済学部 3 年）

□準賞

「地域金融機関による PMI を見据えた M&A 支援の在り方

—事業承継における統合課題の早期対応モデルの提案—

鈴木 さりり氏、大森 匠悟氏、角皆 壮一氏、石田 陽穂菜氏

以上 4 名（中京大学 総合政策学部 3 年）

4. 中小企業活性化懸賞レポート

- ・中小企業活性化懸賞レポートは、中小企業の組織活動や支援活動の現場における体験レポートを募集するもので、1997 年度から実施しております。今回が 29 回目となり、2025 年度は 8 編の応募がありました。

○本賞 「組合業務効率化システム等の構築を通じた支援機関のサポート」

北川 嘉宏氏（滋賀県中小企業団体中央会 総務課 課長補佐）

○本賞 「小規模事業者の海外展開と地域経済活性化— 伴走型支援の実践モデル —」

山下 康仁氏（大野城市商工会 総務課 課長）

○本賞 「久留米市管工事協同組合における事業継続計画策定の意義と地域防災の未来」

岡田 翔太氏（福岡県中小企業団体中央会 筑後支所 主事）

○本賞 「とちぎ発！企業内組織内診断士「ティフ研」の熱い活動報告」

市川 大蔵氏（栃木県中小企業診断士協会「企業内診断士研究会（ティフ研）」

栃木県信用保証協会 保証部 保証二課 課長）

松本 誠謙氏（栃木県中小企業診断士協会「企業内診断士研究会（ティフ研）」

キャノン株式会社 半導体機器事業企画 第三課）

坂上 弘祐氏（栃木県中小企業診断士協会「企業内診断士研究会（ティフ研）」）

小山 将言氏（栃木県中小企業診断士協会「企業内診断士研究会（ティフ研）」）

梶田 隆一氏（栃木県中小企業診断士協会「企業内診断士研究会（ティフ研）」）

○本賞 「中小企業の海外市場への挑戦を見つめて—ベトナムの支援現場の経験から—」

馬道 和尚氏（独立行政法人中小企業基盤整備機構 監査統括室 副監査役）

以上